

第 27 号

発行日：2012年6月1日

発行人：パートナー情報誌「香澄」編集部会

編集員：浅野明宏、有吉潔、稲葉寛、尾形孝彦、
栗原知彦、新聞紀文、平江俊之、安川敏行、
目次隆、川田千明、高橋真、中根尚美

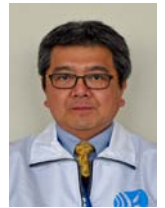
【新任職員自己紹介】

宮本 和彦 環境活動推進課長

この度の定期異動で、環境活動推進課長として赴任いたしました宮本でございます。

霞ヶ浦の湖畔で生まれ育ち、小学校4年生ぐらいまでは夏休みになると、現在よりずっときれいな霞ヶ浦で一日中遊泳をしたり、ヨシ原から続く浅瀬の砂地で貝を採ったりして過ごしていたことを昨日のように思い出します。浅瀬の水の陽にきらめく透明感、温んだ水の感触などの記憶は、今でもどこか懐かしく、毎日が永遠に続くと思っていた子供時代へ誘ってくれる大切な宝物となっています。

霞ヶ浦環境科学センターは、霞ヶ浦の水質浄化や環境問題を通して一人でも多くの方がそれぞれの記憶に残る霞ヶ浦に変えていくための拠点の一つであると考えています。その重要な担い手であるパートナーの皆様一人一人の「意志」と「活動」のお力をお借りして、一緒に霞ヶ浦を変えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



富田 俊幸 主査

石岡市立園部中学校から異動してまいりました富田です。研修グループのパートナー活動を担当いたします。パートナーの皆様と一緒に環境学習を楽しく分かりやすく進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



川田 千明 係長

センター環境活動推進課の川田と申します。「香澄」編集部会担当となりました。環境に携わる業務は初めてとなりますが、パートナーの皆様のご活動の一助となれるよう努めてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。



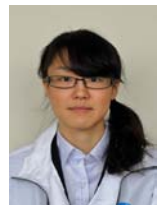
坂巻 佳織 嘱託

文献資料室勤務となりました坂巻です。霞ヶ浦、身近にあるはずなのにあまり目を向けて来ませんでした。ここに来て霞ヶ浦は私たちにあって実は欠かさないものであることを痛感し、その為の活動をされているパートナーの皆様とともに、微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



鳥居 優美 臨時職員

環境活動補助と水槽管理を4月から担当しております鳥居と申します。私自身、環境問題についてとても興味を持っていた為、この仕事はとても勉強になります。パートナーの皆様と環境活動を通して、子供たちが環境について自主的に考えていけるよう伝えていくお手伝いを微力ながらしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



平成24年度パートナー活動に係わる担当者及びグループリーダー等一覧

業務区分	霞ヶ浦環境科学センター	パートナー		
	担当職員	リーダー	副リーダー	登録人数
パートナー活動全体	深澤主査 ※センターHP更新は高橋主任			70
パートナー企画部会	松本主任、山中係長 高橋主任	会 長：尾形孝彦	副会長：栗原知彦	13
「香澄」編集部会	川田係長、高橋主任、中根主事	編集長：安川敏行	紙面編集：稲葉寛	9
研修G活動	長谷川主査、富田主査、宮本係長	浅野明宏	安川敏行、渡邊昇	25
イベント・記録G活動	山中係長、松本主任	目次隆	平江俊之、山中章	38
生き物G（魚類）活動	中村嘱託、川田係長	腰塚昭温	大須賀誠一	21
生き物G（植物）活動	福田嘱託、軽部主査、中根主事	有吉潔	二階堂春恵、八島茂夫	24
図書G活動	中根主事、土肥嘱託、坂巻嘱託、高橋主任	山中章	平江俊之 細谷浩	19
その他（鍵、ゴミ管理）	総務課・環境活動推進課職員			

平成24年度各グループ活動計画

企画部会

まず、年度初めにあたり「パートナー企画部会」について、あらためてご紹介します。

パートナー企画部会は、平成 21 年 5 月に、センターの事業補助という通常のパートナー活動を超えて、パートナーが自主的に研修・交流会や環境保全啓発活動を企画・運営していく体制を推進するために設置された組織です。役割としては、パートナー活動全体に関わる自主企画プロジェクトを担う事に特化して運営します。(各グループによる自主企画活動は各グループによる運営に委ねます。) 企画部会委員は、パートナーの皆さんに幅広くお願いし、委員として参加して頂いております。(希望される方は、随時、センター環境活動推進課までお申し込み下さい。)

現在、パートナー13名・センター担当職員3名で構成されており、原則1回/月(毎月第一金曜日)に開催しております。企画内容は、「パートナーの知識の習得及びスキル up」を主な目的とし、企画毎にプロジェクトを立ち上げ、年間計画として策定しています。平成 24 年度もパートナー企画委員とセンター環境活動推進課職員の協力のもと、「平成 24 年度パートナー企画部会プロジェクト計画」に基づく活動を、「楽しく・ためになる」をモットーに行っていきます。

(1) 活動情報の発信 (2) 研修・交流の充実 (3) 霞ヶ浦流域の市民活動との交流 を重点テーマとし、各テーマ毎にプロジェクトを立ち上げ実施して行きます。

重点テーマ	プロジェクト	プロジェクト概要
(1) 活動情報の発信	①「夏まつり」への出展 ②パートナー情報誌の発行	・パートナーブースにて各グループ活動紹介及び各種イベント実施 ・「香澄」の発行(1回/2ヶ月)
(2) 研修・交流の充実	①「パートナー霞ヶ浦講座」 ②パートナー全体研修・交流会	・パートナーのスキル Up の一環として現地講座(4回/年)を開講 ・パートナー活動報告及び再生エネルギーについての講演
(3) 霞ヶ浦流域の市民活動との交流	①環境保全市民団体との交流会	・環境保全活動の現地見学と交流
(4) その他の活動	①普通救命講座 ②「パートナー霞ヶ浦クリーン Up」	・緊急時に備えての現地訓練 ・霞ヶ浦湖岸の清掃(1回/月)活動

自己啓発を兼ねて、パートナーの皆様のご参加をお待ちしております。(企画部：尾形)

研修グループ

本年度の研修グループパートナー活動は、昨年度に引続き研修室、霞ヶ浦出前講座における講師補助業務、センターイベントでの環境学習補助であります。また自主企画活動としてパケットによる「フィールドで水を覗いて感じよう Part3！」の実施を予定しております。さらに計画の進捗状況のフォロー及び反省を行いフィードバックするための定例会を年4回、研修補助活動について、その内容の理解及びスキルアップを図るための環境学習プログラムの勉強会を上半期に4回開催します。

重点活動

- ・研修室、霞ヶ浦出前講座での講師補助業務、並びにセンターイベントでの環境学習補助前準備～実験(観察)～後片付けまでを一連の流れとして行う。
- ・定例会の開催
4月17日 10時～、7月24日 10時～、11月27日 10時～、平成25年2月26日 10時～。
- ・環境学習プログラム勉強会の開催
環境学習プログラムの内容理解とスキルアップを図るため、湖上スクールの学習内容(第1回4月24日10時～12時)、プランクトンの観察(第2回5月8日10時～12時)、水の浄化・硝酸イオン(第3回5月17日10時～12時)、水環境マップ・酸性雨(日時未定)を開催。
- ・パートナー新人受入教育
新人受入教育の継続的な実施。

その他

- ・自主企画活動パケットによる「フィールドで水を覗いて感じよう Part3！」の実施。
霞ヶ浦流入河川等のうち、特徴的な4河川と霞ヶ浦大橋の5調査点を選定、透視度など五感による調査と pH、パケットによる COD、リン調査などを年度内4回(7月、10月、1月3月下旬)実施。データ集積と季節変化による水質の変化を考察する。
- ・平成24年度研修グループの登録者は25名(新登録者2名を含む)です。リーダーとして浅野、サブリーダーとして安川、渡邊が指名されました。ご協力をお願いいたします。(研修グループ：浅野)

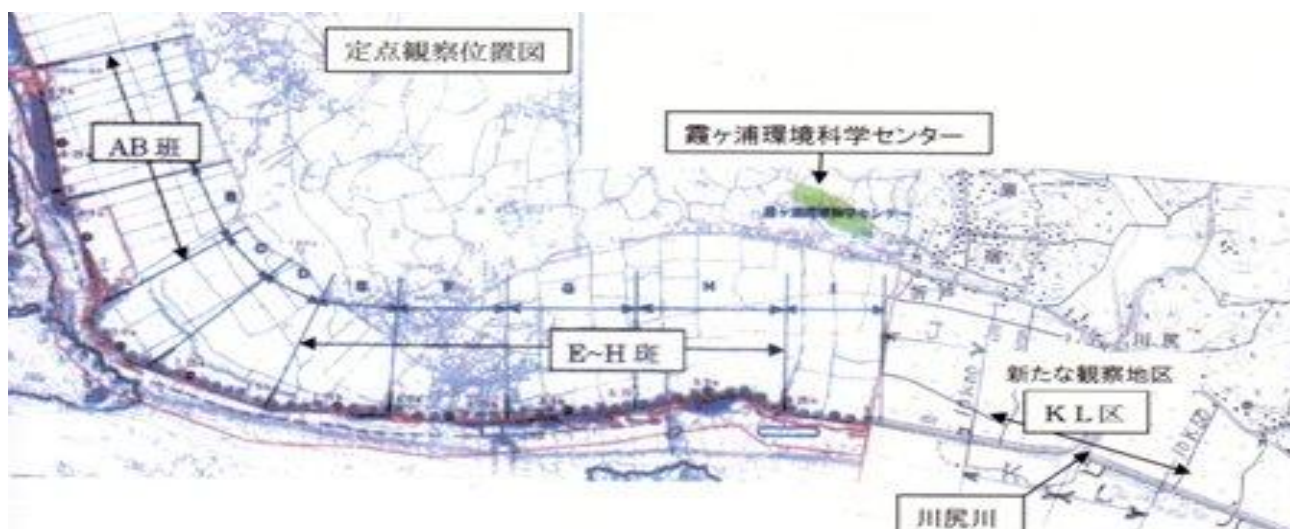
植物グループ

植物グループでのパートナー活動は、センター主催の「野外講座」に於ける運営補助作業と、「パートナーの自主的な学習行動」として毎月実施する湖岸での「植物定点観察」の環境学習推進活動です。野外講座は霞ヶ浦流域内の植物観察を通して霞ヶ浦の水質浄化に関心を深めてもらう目的で、年間10回(4月～翌年1月までの毎月原則第2水曜日)が予定され、植物Gパートナーは「説明補助」「写真」「記録」「安全・ゴミ」の運営補助業務を担います。

定点観察活動は今年度から第Ⅲ期活動に入りますが概ねⅡ期活動の継続を旨として、「AB」区は国交省の自然再生工事がB区で本格化することから引き続き悉皆調査を行います。「EF, GH」区はこれまでの観察で生育が概ね固定化して来たことから、合区してノウルシ(準絶滅危惧種)やヤナギトラノオ(県・絶滅危惧Ⅱ類)など特色ある植物10数種を再選定して年間を通して観察することとします。更に今年度からハナムグラ(絶滅危惧Ⅱ類)やオオフサモ(特定外来生物)の生育が予測される川尻川河口の両側約500mを「KL」区として新たに観察を開始することとしました。又その月の観察成果の中から特徴ある植物を選び写真をメインにしたセンター内展示はより改良・充実させて継続します。しかしこれまで「香澄」に掲載して来ました「活動の抄録」は諸般の事情から取りやめることとします。

更に、昨年は東日本大震災の影響で止なく中止しました研修・見学会は、4月に行った県自然博物館での「植物たちのSOS」見学に続いて「浮島湿原」の観察会や「国立科学博物館 筑波実験植物園」見学など水質浄化に関係した施設の研修・見学会を予定していますので関心のあるパートナーの参加を期待しています。

(植物グループ： 有吉)



図書グループ

今期も昨年と同じメンバー(総勢19名)で活動を行います。活動日は、原則週1回で金曜日です。但し、読み聞かせとアクリルタワシ作成補助の活動日は以下の通りです。

●読み聞かせ：毎月第4土曜日及びセンター恒例行事

●アクリルタワシの材料準備及び作成指導補助：「交流サロンのアクリルタワシ教室」開催時及びセンター恒例行事
活動テーマは下記の通り、昨年と同じ継続テーマです。

(1) 文献資料室の図書紹介(全員活動)

- ・文献資料室の利用促進を図るため、新着図書等のリストをもとに図書紹介文を作成します。
- ・図書紹介文の掲示について、誰にも目につきやすいように図書紹介パネル板を交流サロン内に設置します。
- ・図書紹介文の「センターホームページ」への掲載については、今後検討を行っていきます。

(2) 霞ヶ浦Q&Aの作成(全員活動)

- ・「霞ヶ浦や環境、郷土の歴史等」に関する質問(Q)を作り、その答え(A)とその際に参考にした文献、資料室の蔵書を紹介し、Q&A集を作成します。Q&Aは分類分けして冊子とし、利用者に分かりやすい情報や資料を提供します。

(3) アクリルタワシ作成指導補助(全員活動)

(4) 「テーマ別新聞切り抜き綴り」(スクラップ)の作成(希望者活動6名)

引き続き3つのテーマ、「霞ヶ浦流域における河川・湖沼・ダムに関する情報」、「環境問題をテーマとした社説・論説等」、「常陽新聞“茨城の水源”シリーズ」に関してスクラップをおこないます。完成したものを順次配架していきます。

(5) 読み聞かせ(希望者活動7名)

従来通り月1回の読み聞かせを行います。聞いてくれたお客さんに手作りのシオリをプレゼントすることを考えています。シオリは自分たちで作成します。

(図書グループ： 平江)

イベント・記録グループ

本年度のイベント・記録グループの活動はセンター主催の「こども環境フェスティバル」「センター夏まつり」他のセンター行事の補助活動の他に次の自主活動を計画しております。

1、ウォーキングイベント開催・・・H24年8月予定。

昨年度までに「戸崎コース」「沖宿コース」のウォーキングマップを作りましたので、今年度はパートナーの皆様にも、もっと地元のことを知っていただきたいと思い、他の行事と合同でウォーキングイベントを開くことを計画しております。多数の参加をお待ちしております。

2、環境写真撮影会及び展示会の開催・・・H24年11月予定。

昨年度に続き 霞ヶ浦に関連したテーマで今年も撮影会及び展示会を計画しております。テーマ、開催時期を出来るだけ早急にご案内しますので、皆様の参加をお待ちしております。

3、川尻川探索・・・H24年6～7月予定。

川尻川はセンター近くを南北に流れる約2.9kmの川でハス田の中を流れる小川です。昨年度河口から源流までの探索を計画しましたが実施出来ませんでしたので、今年度は是非実施して、資料を作成したく計画しております。

4、霞ヶ浦入門講座の活動資料の整理・・・H24年12月予定。

霞ヶ浦入門講座の活動状況をまとめた資料がありますので、パートナーの皆様が見れるよう整理をします。

(イベント・記録グループ：目次)

魚グループ

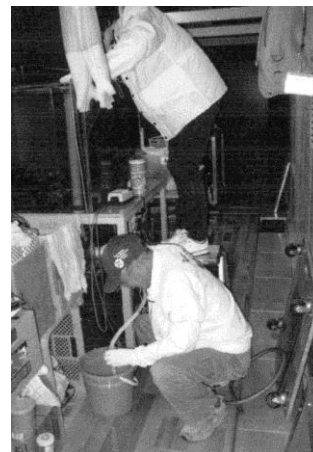
今年も昨年と同様の活動を行っていく。

- 湖岸での定点調査** 原則として第2土曜日の午前中に投網による魚調査と同時に水質調査を行う。魚調査は捕れた魚の種ごとに匹数と最大と最小体長を計測し記録する。水質調査は気温と水温、pH、電気伝導度、透視度を計測して記録する。水質調査は4年ほどのデータがそろったので、今年の夏を目処にまとめる予定である。
- 自然観察会の補助** 年10回行われる自然観察会で、主に参加者の誘導・安全確保、使用する器具の準備や片付けを行う。湖岸や桜川での魚捕りでは参加者に投網や網の使い方を指導し、場合によっては一緒に魚捕りをすることもある。
- 水槽の清掃** 毎週水曜日に職員と共に1階の展示室と2階にある水槽を清掃する。
- センターの行事の補助** 5月のこども環境フェスティバルと8月の夏まつりには投網教室と、小学生以下を対象とした、魚釣りゲームを行う。

(魚類グループ：腰塚)



夏祭りでの投網教室



水槽の清掃

第2回国際刻字芸術大展に参加して（その3）

10月8日 世界遺産に登録されている土楼の見学



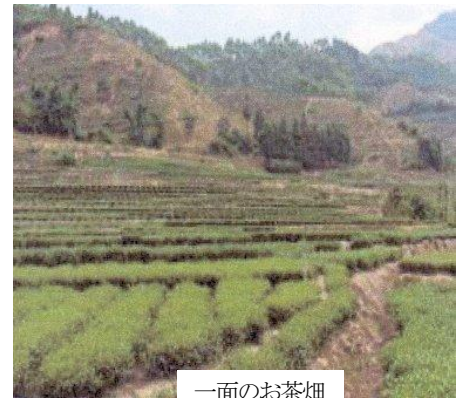
土壁と黒い瓦屋根の伝統的集合住宅

世界遺産に登録されている土楼の見学に行きました。直径が73mで高さが15mの4階建てになります。1階に台所、2階に倉庫、3～4階が住まいです。窓は4階についているだけです。壁厚が基礎部で2m、上部で1mで

す。明り取りをして日時計を設備していました。現在あるこの集合住宅は270年経過しているそうで、窓が少ないのは他民族との戦いに備えてつくられていたらしいです。

バスで行く途中の畑は、山を削った段々畑で、栽培されているのはほとんどがお茶です。1年に4回収穫があるそうです。春に新茶、夏に2回、秋に1回、やはり新茶が一番美味しいそうです。時間がたてばたつほど味がよくなるそうです。約200種類栽培されています。

そのほかには、パイナップル、みかん、バナナも収穫があります。帰りにお寺を見学しました。



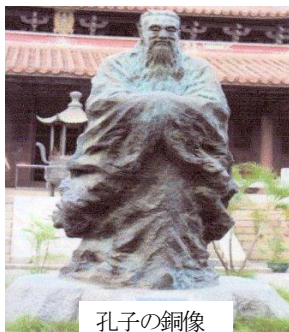
一面のお茶畑



集合住宅の内側

漳州にて、明清古街に立ち寄りレンガズ建ての2階建ての町並みです。福建省には5000のお寺があるそうです。

この街中にあるお寺に「孔子」の銅像がありました。恐れ多くて足元に及ばず、写真を撮りました。



孔子の銅像

川の流れて沿って両岸から山の中腹まで、お茶畑が広がっております。この土地で生活する人々はお茶産業とも言いますか、すべての人がお茶栽培のようです。背丈は1mぐらいから50cmぐらいで年4回の収穫行われているようです。

(和知裕善)

デジタルカメラ（その6） ホワイトバランスって何？

○ 写真の「白っぽさ」はホワイトバランスで大きく変わる

白いものを白く写すのが自然で綺麗な写真に写すコツです。ここでは、ホワイトバランスについて勉強していきましょう。ホワイトバランスの説明に入る前に、光源について少しお話しておきましょう。光というのは常に一定ではありません、太陽光が降り注ぐ日中の屋外、曇りの日、夕方、蛍光灯の室内、ぬくもりのある白熱電球でのレストラン・・・など、シチュエーションは様々ですね。例えば、真っ白なボールを被写体として、様々な光の状況下で置いてみます。それを見てください。

人間の目では周りがどんな状況でも白い色を白と認識出来ます。日中の屋外でも、室内でも、ちょっと暗い場所でも、たぶんこれは白いボールだと認識できるでしょう。それは人間の脳の中で、光源の色を判断して、白いものを白と判別しているからです。

カメラは周りの光の色を設定しあげないと白がわかりません。そのためカメラにあらかじめ撮影時の光源の色を設定しあげないと、白いものが黄色っぽくなったり、青っぽくなったりしてしまいます。それを防ぐためにホワイトバランスを調整します。ホワイトバランスとは、光源の光の色がどんな色なのかを調整し、白を白として正しく映せるように補正する機能のことをいいます。

○ 色温度って何？

色温度とは光源の色をケルビン（K）という単位で表したものです。数字が低いほど黄色っぽくなり、真ん中くらいを白、数字が高いと青っぽくなります。ロウソクの火や夕日の光は2000K程度、日中の屋外では5000～6000Kです。部屋の中の蛍光灯の光は4000K程度、電球の光で3000K程度と、撮影する場所によって光の色が違います。

○ ホワイトバランスを設定しよう

一眼レフカメラを含め、最近のデジタルカメラにはホワイトバランスを設定できる項目があります。一般的にはその光源の色温度を設定してあげるわけですが、今の光源がどのくらいの色温度なのかなかなかわかりませんよね。そこで一般的な状況下で設定できるプリセット設定があります。プリセットの種類はメーカーや機種によって異なりますが、一般的には以下のような光源プリセットを選ぶことができます。

- ・太陽光 : 日中の屋外で被写体が日に当たっている状況下
- ・日陰 : 晴れた日中の屋外で被写体が日陰の状況下
- ・曇り : 日中の屋外で天候が曇っている状況下や日中の室内
- ・蛍光灯 : 室内での蛍光灯下の状況
- ・白熱電球 : 黄色っぽい白熱電球下の状況

○ その他マニュアルで厳密に合わず方法もあります

普段はオートにしておけばOK

いかにも難しい設定が必要ないように説明してきましたが、普段撮影するときはオートホワイトバランスに設定しておけば、いちいち違う状況で設定を補正しなくてもカメラが光の色に応じて自動的に調整してくれます。

ちょっと慣れてくると、わざと合わないホワイトバランスを設定して、雰囲気の違いを作るといった上級テクニックもあります。雰囲気を変えたい場合は違うホワイトバランスの設定をして何枚か撮影するのもいいかもしれませんね。

(目次 隆)

センター直通バス路線が新設されました

土浦駅からセンター直通のバス路線が4月1日に新設されました。

これまで、最寄りの停留所から徒歩で15分程度かかっていたのですが、新たな停留所はセンター内に設置され、センターへのアクセスが格段によくなりました。パートナーの皆様にもぜひご利用いただければと思います。

なお、ご利用に当たっては以下の点にご留意下さい。

- ・これまでの循環経路と異なり、田村町方面は経由せず、おおつ野を経由するルートとなります。
- ・土浦駅での乗り降りについては、ルートにより西口(土浦協同病院経由)と東口の発着がありますので、ご利用に際してはあらかじめ時刻表をご確認ください。



(センター:高橋)

	平日	土日休日
土浦駅初発	8:00	8:05
センター終発	17:30	17:20

詳しくは時刻表をご確認ください(センターホームページにも掲載されています。)

「パートナー情報誌 香澄」原稿募集

香澄編集部では「香澄」に掲載する原稿を募集しています。内容は問いません。センターでの活動の様子や、趣味など何でも結構です。写真も大歓迎です。

原稿はパートナー室のメールボックスに投函していただくか、編集委員にお渡しください。

(パートナー情報誌「香澄」編集部)

【編集後記】先日の降雹には驚かされました。所用から車で帰る途中に遭遇しました。屋根に落ちるのはぶつかる音が大きいだけでそれほど不安はありませんでしたがフロントガラスへの衝撃は強烈で、ガラスが割れるのではないかと恐怖感さえ覚え思わずブレーキを踏んだほどです。あっという間に道路は玉石を敷き詰めたように真っ白になり、車が横滑りしました。我が家では、畑の野菜をへし折られたぐらいの被害でした。つくば市北条や筑西市の北端での惨状は、なんとも言葉になりません。何があるか分からない時代。心していなければならないと思うこの頃です。(H)